

令和4年8月 定例教育委員会会議録

開催日	令和4年8月24日(水)
開催場所	半田市役所 会議室303
出席委員	教育長 鈴木慶光 委員 新美大 委員 久米宏和 委員 桂優子 委員 正村日登美
説明のため出席した職員	教育部長 岩橋平武 学校教育課長 森田知幸 主任指導主事 鈴木康弘 指導主事 高下隆史 給食センター所長 前田成久 生涯学習課長 青木美希 スポーツ課長 加藤計志 スポーツ課主幹 長坂壮浩 図書館長 山下由美 博物館長 関正樹 南吉記念館長 遠山光嗣
事務局	学校教育課総務担当副主幹 渡辺 富之
議案	(1) 令和4年度半田市一般会計補正予算について (2) 半田市教育委員会の委員の任命について (3) 乙川中学校改築工事請負変更契約の締結について
報告事項	(1) 寄附、後援願等について (2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (3) 半田市学校給食運営協議会委員の委嘱について (4) 半田市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について (5) 「各種事業について」 ・国際芸術祭「あいち2022」ポップ・アップ!について ・HANDA NEW VISION—アートの目覚め—について ・Sound Spice vol.1について ・豊でコンサート～0歳からのクラシック～について ・ビギン♪はんだ2022アドバンス(上級編)について ・小さなコンサートについて ・「亀崎オタツシャ音読教室&折り紙」について ・「親子で楽しむクラシック」について ・「パパもいっしょにちいさいちいさいおたのしみ会」について ・講座「子どもの個性を伸ばす読み聞かせ—わたし・ぼくって素敵だよ—」について ・館蔵品展「鈴木花蓑展」について (6) 施設改修に伴う新美南吉記念館・南吉の生家の臨時休館について (7) 新美南吉生誕110年キャッチコピーの決定について
各課事務連絡	(1) 博物館講座「和本を作ろう」について (2) ごんの秋まつりの開催について (3) みんなの南吉展の開催について

〈 開会 14時 〉

1. 前会の会議 録の承認	(事務局) 7月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	<p>(教育長)</p> <p>7月28日、市町村教育長教育委員研究協議会がリモートで開催された。全国の教育委員会の教育長や教育委員が参加。4つのテーマ（いじめ不登校、教育の情報化、地域と学校の連携、部活動）から、2つ選び、いじめ不登校と地域との連携に参加。</p> <p>各市町から現状報告があり、情報共有と意見交換をした。いじめ不登校は増加傾向にあり、対策をしているがなかなか減少しない。意見交換で共通していることは、事後対応だけでなく、いじめや不登校を出さない予防に力を入れていくべきというものであった。</p> <p>意見交換を通じて半田市は、いじめや不登校について対策をかなり手厚く講じているが、今後も不登校を出さないよう注力していく。</p> <p>部活動については、どこもまだ手がつけられないところが多く、大きな課題である。夏休みに入り、特に大きな問題は現時点で発生していない。</p> <p>コロナ陽性者数について、夏休み中（7月20日から8月23日時点まで）は、児童生徒が約320件、教職員が約40件と報告を受けている。</p> <p>7月に比べ、8月は減少傾向にあるものの、新学期が始まることもあり、学校としても対策をしながら準備を進めるよう指導している。</p> <p>8月20日に子ども科学体験教室に参加した。</p> <p>毎年、雁宿ホールで開催されているが、昨年度は規模を縮小して実施し、今年度も縮小していたがたくさんの親子に参加いただいた。</p> <p>市内の理科部会の教員が様々なブースを設け、子どもたちが実験を体験した。半田工科高校の生徒や、企業（ミツカンや富士重工）、少年少女発明クラブに協力いただいた。毎年人気が高く、子どもたちも楽しんで参加している様子で、様々な企業や高校生に協力いただけることは大変ありがたい。そのような繋がりを今後も引き続き実施していきたい。</p> <p>8月21日に、半田市民盆踊り大会が開催された。</p> <p>踊りのスペースと飲食スペースを物理的に分けての開催であったが、盛況で歩道からはみ出て店に並んでいた。飲食される方と同様に多くの方が踊りを楽しんでいる様子を拝見し、学校行事等も感染対策を施しながら実施しなければいけないと感じた。</p> <p>8月24日、全中・東海大会出場選手市長報告会が開催された。</p> <p>半田中学校は新体操女子。乙川中学校は、水泳男子と、ソフトテニス男子。</p> <p>亀崎中学校は卓球女子。成岩中学校は、水泳男子と陸上。青山中学校の体操男子個人では、全国中学校総合体育大会において、種目別跳馬で優勝、東海中学校総合体育大会2位、愛知県中学校総合体育大会で優勝し、団体では8位と素晴らしい結果を残した。</p> <p>全国や東海大会に出場した生徒の半数以上は地域のスポーツクラブに所属し、学校の部活として出場している。</p>

	<p>また、今年も甲子園を見て感動した。郡大会でも、技術的に差はあるにしても部活動を頑張ってきた子どもたちの泣いている姿を見て、郡大会が甲子園と一緒にの気持ちで参加しているのだと、大変感動させられるところがあった。中学校の部活動が引き続き継続していけるよう、その在り方について今後も検討していきたい。</p>
<p>3. 議題 議案 1) 令和4年度半田市一般会計補正予算について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>歳出予算2款・1項・5目「財産管理費」中、「基金積立金」10万円については、令和4年6月に入金された匿名1名の方からの寄附であり、全額基金に積み立てるもの。寄附者の音楽文化振興の意向に沿うため、今回の寄附金とこれまでの教育基金を財源として、来年度、音楽関連事業を実施する計画を立てていく。</p> <p>歳入予算18款・1項・1目「総務費寄附金」の10万円は、歳出予算で説明した基金積立金の原資を教育基金寄附金として収入するもの。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>歳出予算9款6項4目「体育施設費」中、「半田運動公園管理運営事業」1067万円については、半田運動公園管理棟レーニング室の空調設備が故障したため、取替え工事を行うもの。</p> <p>7月末に、空調設備が故障し、修理を業者に確認したところ、設置から20年を経過しており、交換部品もないため、空調設備を取り替える。</p> <p>(博物館長)</p> <p>歳出予算2款・1項・5目「財産管理費」中、「基金積立金」7万4千円については、令和4年5月1日から7月15日までに入金された新里幸枝様からの1万円、匿名の5名(5件)の方からの6万4千円、合計6名(6件)の「ふるさと納税」7万4千円であり、活用希望先である「文化財の保存継承に関する事業」に将来充当するため、「文化財保存継承基金積立金」に積立し保管するもの。</p> <p>歳入予算18款・1項・1目「総務費寄附金」の7万4千円は、歳出予算で説明した基金積立金の原資を文化財保存継承基金寄附金として収入するもの。</p> <p>(南吉記念館長)</p> <p>歳出予算2款・1項・5目「財産管理費」中、「新美南吉文学顕彰基金積立金」62万4千円については、5月1日から7月15日までに入金された寄附金462,000円、内訳では大見博昭様100,000円、野村昭子様3,000円、宮内純子様3,000円、杉浦正敏様10,000円、神田一孝様10,000円、石川恵深様300,000円、匿名8名8件36,000円、またふるさと納税161,290円、内訳では平野智一様10,290円、南英雄様7,000円、山下大介様10,000円、堀越麗生様10,000円、匿名8名8件124,000円の合計であり、活用希望先である「新美南吉の文学を顕彰する事業」に将来充当するため、「新美南吉文学顕彰基金積立金」に積み立てし保管するもの。</p> <p>歳入予算18款・1項・1目「総務費寄附金」の62万4千円は、歳出予算で説明した基金積立金の原資を「新美南吉文学顕彰基金寄附金」として収入するもの。今回、たくさんの寄附を頂戴したが、これは今年度から郵便振替票付きの寄附呼び掛けチラシの配布を始めたことによるもの。</p>

<p>2) 半田市教育委員会の委員の任命について</p>	<p>(教育部長) 久米宏和教育委員及び榊原肇教育委員は、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、第8回定例議会に両名の後任者について同意を求める議案を提出するもの。</p> <p>久米宏和委員については、改めて教育委員に任命させていただき、榊原肇委員の後任として堀崎隆資氏を任命させていただく。堀崎隆資氏は、昭和58年の半田小学校教諭を皮切りに、市内では、成岩小学校、亀崎中学校で教壇に立たれ、その後、校長として成岩小学校、半田小学校を歴任し、令和元年には、半田市小中学校校長会長として、学校運営及び教職員活動の運営に尽力され、現在は特別支援教育の先生方の指導員をされており、半田市の教育に精通された方である。</p> <p>両名については、議会の同意が得られれば、10月1日に、教育委員に任命させていただくこととなる</p>
<p>3) 乙川中学校改築工事請負変更契約締結について</p>	<p>(学校教育課長) 乙川中学校改築工事請負変更契約の締結について、1億5000万円以上の工事請負契約の締結は、議会の議決が必要となることから、当初契約も議会の議決をいただいていたため、今回の変更契約の締結においても、同様に上程するもの。</p> <p>変更前の請負契約金額は、25億8500万円に変更請負契約金額は26億1141万9800円。</p> <p>2641万9800円の増額で変更理由は、主要な工事材料価格の著しい上昇によるもの。</p> <p>本工事は、乙川中学校改築事業のうち、校舎及び柔剣道場を改築する工事で、当初の予定どおり、令和4年12月の完了を予定している。</p> <p>(久米委員) 改築工事に付随する設備工事についても工期内に完了できる見込みか。</p> <p>(学校教育課長) 電気設備工事、衛生設備工事、空調設備工事についても令和4年12月の完了を見込んでいる。</p> <p>(新美委員) 物価高騰による増額とのことだが、今後も更なる高騰があった場合も変更契約する可能性はあるか。</p> <p>(学校教育課長) 当該工事に限らず、工事請負契約をするうえで一定の物価上昇率については請負業者が負担する規定があるとともに、物価スライドの動向から増額金額の算出をしておりこれ以上の増額は無いものと判断している。また、令和5年1月からの供用開始を必</p>

	<p>須とするため、議会承認に要するスケジュールが組み込めないことから、更なる変更契約は原則見込んでいない。</p>
<p>報告事項 1) 寄附、後援願等について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 団体より寄附。(塩レモンあまざけ) ・32 名よりふるさと納税による寄附。 ・1 1 件の後援名義を許可。
<p>2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について</p>	<p>(指導主事)</p> <p>令和4年7月23日～8月19日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：2件</p> <p style="padding-left: 2em;">7月29日(水) 1件</p> <p style="padding-left: 2em;">8月 3日(水) 1件</p> <p>問題行動(被害)等：1件</p> <p style="padding-left: 2em;">8月12日(金) 1件</p> <p>交通事故以外の事故：なし</p> <p>学校等被害：1件</p> <p style="padding-left: 2em;">8月 8日(月) 1件</p> <p>不審者情報：なし</p>
<p>3) 半田市学校給食運営協議会委員の委嘱について</p>	<p>(給食センター所長)</p> <p>学校給食運営協議会は、「半田市学校給食運営協議会条例」に基づき設置され、教育委員会の諮問に応じて、学校給食の運営に関する必要な調査及び協議を行う機関である。</p> <p>委員は、条例の規定により、知識経験者、県又は市職員、教育委員会事務局職員、学校関係者の中から教育委員会が委嘱又は任命することとし、任期については、条例の規定により2年間としている。ただし、役員の交代など変更があった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間となる。</p> <p>今回は、2年間の任期満了に伴う委嘱となるため、12名中11名の委嘱となる。任期中の委員は、アレルギー専門の医師1名で、各委員は、名簿の所属・役職等の欄に記載の所属団体の役職者の方をお願いしている。</p>
<p>4) 半田市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について</p>	<p>(給食センター所長)</p> <p>半田市食物アレルギー対応委員会は、文部科学省の「学校給食における食物アレルギー対応指針」において、市町村の教育委員会において対応委員会を設置し、学校と連携しながら組織的に対応することが求められていたことから、本年4月1日から施行した「半田市食物アレルギー対応委員会設置要綱」に基づき新規に設置するもの。</p> <p>本委員会では、市内小中学校の学校給食における食物アレルギー対策の方針を定め、管理するとともに、児童生徒の学校給食における食物アレルギー対策に関する専門的な役割を果たすことを目的としている。</p> <p>委員については、要綱第3条第2項の規定により、学校関係者、医療関係者、そ</p>

	<p>の他教育委員会が必要と認めた者の中から、半田市教育委員会が委嘱又は任命することとされており、任期は2年間とし、委嘱する委員は、名簿に記載のとおりで、備考欄に委員の区分を記載している。</p>
<p>5)「各種事業について」</p> <p>・国際芸術祭「あいち 2022」ポップ・アップ!について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>7月末から開催している「国際芸術祭あいち2022」の連携事業として、半田市のほか3市の文化施設等で巡回展示するもの。巡回展示とは、あいち2022参加アーティスト82組のうち11組の作品を4市の施設で展示する移動型展覧会で、立候補式で手を挙げた市町村から会場が選定され、本市もこれまで手を挙げてきて、念願かなって選定された。</p> <p>日程は、9月16日～19日の4日間。場所は、中埜半六邸と市役所の同時開催で、中埜半六邸では、作品ガイドツアーとワークショップを実施。ワークショップは、作家の黒田大スケ氏による心霊写真の撮影術を行うもので、申込制で小学生以上先着10名、参加無料とし市報8月号に掲載している。</p>
<p>・HANDA NEW VISION—アートの目覚め—について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>先に報告した「あいち2022ポップアップ」につながる事前イベントで、市が主催するもの。県内を中心に活躍する現代美術作家のアート展覧会で、参加作家の鈴木勇貴氏は、阿久比町出身で現在は半田市在住。障がいを持たれ、小さい模型を中心に制作され、特に極小作品は緻密で精細である。</p> <p>日程は、9月6日～12日の7日間で、中埜半六邸と赤レンガ建物の同時2会場で開催。赤レンガでは、ワークショップも開催し、作家さんと一緒にコピー機でデジタル版画を作成する。</p> <p>申込制で小学生とその保護者各5組、参加無料とし、こちらも市報8月号に掲載している。</p>
<p>・Sound Spice vol.1 について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>昨年度、夏井いつきさんの句会ライブを実施したジーコーポレーションとの共催で、愛知県出身アーティストによる地元を盛り上げるための Sound Fes を開催する。</p> <p>10月10日(月)18時開演で、チケットは昨日から、雁宿ホールのほか、チケットぴあ、イープラスで販売している。</p> <p>生涯学習課の主催、共催事業では、長らく定員の半数650席でやってきたが、夏井いつきさんの公演から1300席を販売することとしている。ただし、大声での声援・歓声を禁止し、休憩時の換気、および入退場時の来館者の誘導をすることで密集を避けて実施するもので、市のホームページで周知していく。</p>
<p>・畳でコンサート～0歳からのクラシック～について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>普段、コンサートや演奏会に参加することが難しい乳幼児を持つ親子が参加できる演奏会を実施することで、音楽文化に触れる機会を創出し、音楽のあるまちづくりを推進するもの。11月5日(土)に、雁宿ホールの畳の部屋、教養娯楽室で行い、畳で</p>

	座ったり、寝転がったり、お昼寝したりしながら、リラックスして参加でき、毎回、定員を超える申込がある人気のコンサートで、4年連続の開催となる。2部制で各回20組、40名で先着順の申込制としている。
・ビギクラ♪はんだ 2022 アドバンス (上級編)につ いて	(生涯学習課長) 来年1月に開催するセントラル愛知交響楽団による「ガラ・コンサート」を100倍楽しめるよう、ビギナーのためのクラシック講座の上級編。こちらも毎年人気のある講座で、11月5日(土)は、軽騎兵・フィンランディア・モルダウ、12月10日(土)は、交響曲の父ハイドンをテーマに、生演奏付きで、セントラル愛知交響楽団山本主幹によるクラシックを楽しくわかりやすく解説するもので、各回100名(申込順)とし、受講料は資料代として300円としている。
・小さなコンサート について	(生涯学習課長) 乳幼児から大人まで気軽に楽しめる30分程度の無料コンサートで、ねずみくんのチョコッキという絵本をスクリーンに映しながら、演奏を楽しむ親子向けのプログラムとなっている。小さなお子様連れの方におすすめのコンサートとなっており2部制で各回100名とし、先着順の申込制としている。
・「亀崎オタツシャ 音読教室&折り 紙」について	(図書館長) 10月7日(金)午前10時30分から、亀崎公民館会議室にて「オタツシャ音読教室&折り紙」を開催する。名作、古典、地域の歴史などの音読と季節の折り紙を楽しんでいただくもので、対象は60歳以上、先着10名で9月21日から申し込みを開始する。
・「親子で楽しむク ラシック」について	(図書館長) 10月8日(土)午前10時30分から、本館2階会議室にて「親子で楽しむクラシック」を開催する。金城学院大学生によるクラシック音楽の演奏とセントラル愛知交響楽団の山本雅士氏の解説、図書館司書による音楽をテーマにしたブックトークを親子で一緒に楽しんでいただくもので、先着40名で9月14日から申し込みを開始する。
・「パパもいっしょに ちいさいちいさいお たのしみ会」につい て	(図書館長) 10月15日(土)午前11時から、本館2階会議室にて「パパもいっしょにちいさいちいさいおたのしみ会」を開催する。3歳以下の子どもとその保護者を対象に、読み聞かせボランティア「あんころもち」の皆さんが絵本の読み聞かせやパネルシアターの上演をするもので、先着20組で9月22日から申し込みを開始する。
・講座「子どもの 個性を伸ばす読 み聞かせーわた し・ぼくって素敵だ よー」について	(図書館長) 10月16日(日)午前10時30分から、本館2階第1会議室にて講座「子どもの個性を伸ばす読み聞かせーわたし・ぼくって素敵だよー」を開催する。幼児(概ね3~5歳)の家族や絵本の読み聞かせに興味のある方を対象とした、幼児期から絵本に親しみ、読み聞かせを子育てに役立てるコツを学ぶ講座で、講師は日本福祉大学(教育・心理学部子ども発達学科)准教授 松山有美氏を招き、先着20名で9月15日から申し込みを開始する。

<p>・館蔵品展「鈴木花蓑展」について</p>	<p>(博物館長)</p> <p>鈴木花蓑は明治14年に半田市で生まれ、半田の俳句グループ「芋会」で活動し、その後拠点を換えながら作句を続け、俳句雑誌『ホトトギス』で活躍する花形俳人となり、『花蓑時代』と呼ばれる全盛期を築き上げた。</p> <p>本展では、『ホトトギス』や短冊を展示し、花蓑の生涯や周囲の人々を紹介し、9月17日 土曜日から11月6日 日曜日まで開催している。</p>
<p>6) 施設改修に伴う新美南吉記念館・南吉の生家の臨時休館について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>新美南吉記念館は、来年の生誕110年にむけて展示室の一部リニューアルを実施する。生誕100年の際に「おじいさんのランプ」の木や下宿部屋の再現などビジュアルで目を引くものを加えたが、展示パネル本体は手をつけられなかったため、今回はこの展示パネルの内容を開館以来初めて全面的に更新する。</p> <p>また排煙窓として天井に取り付けられている天窓が老朽化して雨漏りの原因になっているため、これを取り換える工事を実施する。これらの工事により、新美南吉記念館は11月7日から臨時休館に入る。</p> <p>記念館に加え、南吉の生家についても、下見板張りの外壁が昭和63年の復元以来の風雪によりかなり傷んでいるため、これをすべて貼り換える工事を実施する。このため生家についても10月24日から見学できなくなる。</p> <p>両施設とも年末には工事を終え、1月4日にリニューアルオープンの予定である。</p>
<p>7) 新美南吉生誕110年キャッチコピーの決定について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>令和5年が新美南吉の生誕110年であることを広く知ってもらい、この機会に南吉作品に触れてみたい、また自分も記念事業に関わってみたい、と思っただくことを目的にキャッチコピーを決定した。</p> <p>キャッチコピーとした「さあ、この泉を汲んでくれ」は南吉の詩「泉」の一節で、この言葉を選んだ理由として、南吉が自らの作品への自負、つまり作品の価値を語っていること、それを泉に例えていることで、目にした人に「え？ どういうこと？」と思わせ、印象に残るとともに、イメージを伝えるだけでなく、読んでください、参加してください、と行動を促すという狙いもある。ただし、詩の一節だけでは意図が分かりにくいので、4行のメッセージも付帯させる。</p> <p>現在、このキャッチコピーを入れたポスターを制作中で、彼岸花の頃までに完成した暁にはポスターのお披露目を兼ねて、このキャッチコピーの発表をし、生誕110年のPRを推進する。</p>
<p>各課からの事務連絡</p> <p>「和本を作ろう」について</p>	<p>(博物館長)</p> <p>先ほど報告した「鈴木花蓑展」が比較的大人向けの展示になるため、その開催期間中に小学生が参加できる講座を開催するもの。</p> <p>講座は、参加費として材料費200円をいただき、和本の形をしたメモ帳を作りながら、和本の歴史や構造を学んでもらうもので、10月9日(日)午後1時30分から開催する。</p>

<p>ごんの秋まつりの開催について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>観光協会を事務局に、地元の方々との実行委員会形式で行っている「ごんの秋まつり」を3年ぶりに開催。</p> <p>一昨年も昨年も秋まつりは中止としたが、まつり開催とは関係なく彼岸花は綺麗に咲くため、例年の半分以上とはいえ、会期中に5万人弱の人出があった。</p> <p>今年はコロナ前と同じように名鉄とタイアップしたキャンペーンを行い、土日祝日は無料周遊バスを運行させ、さらに大勢の来客を見込んでいる。</p> <p>感染対策として、以前のようにバスに乗客を詰め込まず、人数管理をする。飲食ブースでは消毒やそのまま食べ歩きをしないよう呼びかける。</p> <p>9月25日には商工会議所青年部主催で市内の高校生が考案したスイーツの販売、フォトスポット設置などを行うGON FES 2022が、同じ25日に半田青年会議所が中心となって彼岸花をライトアップする「ハナノアカリプロジェクト」も開催される。</p> <p>こうしたイベントの実施や宣伝、周遊バスの運行は民間団体、観光協会、観光課に依頼し、教育部としては新美南吉記念館の場内を安全に混乱なく管理できるよう全課あげて駐車場の整理や周遊バス利用者の案内誘導に努める。</p>
<p>みんなの南吉展の開催について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>市立つくし学園をはじめ市内の児童発達支援施設の子どもたちが新美南吉をテーマにアート作品を作って展示するもので、昨年に引き続き2回目の開催となる。障がい者支援に関わる社会福祉法人、日本福祉大学の関連会社、クラシティなどが中心となり、市としてもつくし学園、生涯学習課、図書館、そして南吉記念館と複数の課が実行委員会に入って関わっている。</p> <p>期間は彼岸花シーズンと重なる9月22日から10月2日で、会場はクラシティと半田赤レンガ建物で開催。生涯学習課が関わるワークショップや図書館司書による読み聞かせ会も予定している。詳しい内容は今後公式インスタグラムで発信されるほか、新美南吉記念館のHPでも紹介していく。</p>
<p>委員からの意見提言等</p>	<p>(桂委員)</p> <p>半田市で、特別支援学級の子どもたちが使用する教科書は、どのようなものを使用しているか。中学生になり、学習についていけないが、未使用の教科書を持ち帰ってくるのを見てもったいないと感じる。子どもたちの能力にあわせたものがあるのか。</p> <p>(指導主事)</p> <p>市内の特別支援学級で使っている教科書は、基本的には通常学級の子どもと同じものである。</p> <p>無償で配布できるのは1種類であり、個々の能力にあわせた教科書を配布することは現実的に難しく、担任が個々にあわせたプリントを用意し、支援しながら対応している。特別支援学級用の教科書があることは把握しているが、半田市では配布していない。</p>

	<p>(桂委員)</p> <p>特別支援学級用の教科書があると知ること、生徒に合わせたものを選択することも可能になると思う。</p> <p>個々の能力に応じた教科書がないことが要因かは分からないが、1年も2年も3年も同じことを繰り返していたり、先に進んでいないようにも感じる。</p> <p>教科書があることで改善されるかは分からないが、一つの指標となるかもしれないし、先生方の選択肢を増やすためにも情報提供をお願いしたい。</p> <p>(指導主事)</p> <p>実態を調べながら、学校へ情報提供していく。</p> <p>(教育長)</p> <p>実態を調べながら、子どもたちの学ぶ幅を広げていくために特別支援学級の先生への情報提供をしていきたい。</p> <p>(新美委員)</p> <p>図書館の自習室の利用状況について</p> <p>半田市と他市町村（東浦町、武豊町）の図書館と比較すると、本の数や利用者は多いと思うが、自習室の利用者が少ないように思う。</p> <p>子どもが利用しやすい環境を整えて欲しい。</p> <p>(図書館長)</p> <p>コロナ禍の状況で利用者の方から様々な意見をいただく。室内の人数制限や空調環境のこと、換気や消毒のため2部制で入替があること、友達同士と一緒に座れないなど、要因があると思うが、感染拡大防止というところで理解していただきたい。状況が落ちついたら、利用されるみなさんの意見を参考に、利用しやすい環境となるよう検討していきたい。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>9月定例教育委員会 日時：9月22日（木） 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室303</p> <p>総合教育会議 日時：9月28日（水） 10時00分～ 場所：半田市役所 庁議室（4階）</p> <p>10月定例教育委員会 日時：10月25日（火） 10時00分～ 場所：半田市役所 庁議室</p> <p>11月定例教育委員会 日時：11月22日（火） 10時00分～ 場所：半田市役所 庁議室</p>

	(教育長) 8月定例教育委員会を終了する。
--	--------------------------

〈 閉会 15時40分 〉